

第7回熊本県高校生ものづくりコンテスト

電気系 電子回路組立部門 課題

1 期 日

平成22年6月12日(土)～13日(日) 会場：実習棟3階 電子制御実習室

2 日 程

[1日目]

受付 13:00～13:30 会場：実習棟3階 電子制御実習室

打合せ・準備 13:30～16:30

※競技内容説明及び競技上の注意事項について など

[2日目]

受付 8:00～

場所：事務室前

開会式 9:00～9:20

会場：工業技術基礎実習室

部品等チェック 9:30

競技 9:45～12:15 (競技時間 2時間30分)

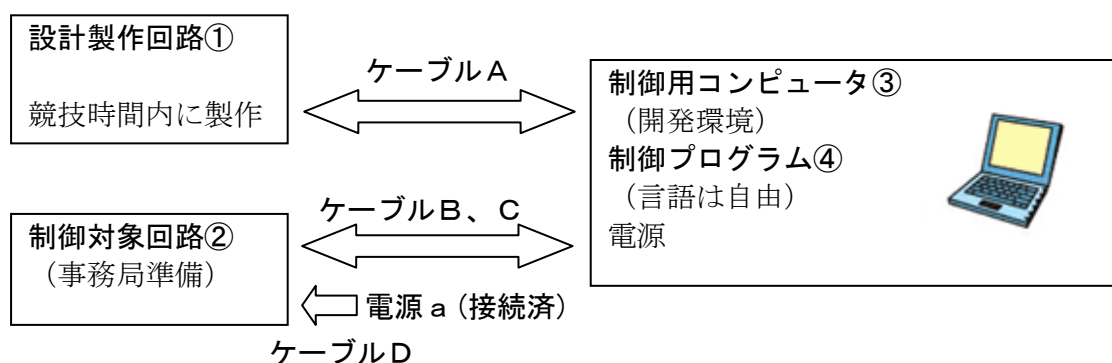
～昼食・審査～

講評 15:00～15:20 各部門ごとに講評

閉会式 15:30～15:50 会場：工業技術基礎実習室

3 課 題

競技時間中に製作する『設計製作回路①』と大会当日に配布する『制御対象回路②』を、事前に製作したケーブルにより『持参コンピュータ③』と接続し、競技時間内に『制御プログラム④』を作成し、目的の動作を行うシステムを完成させる。



(1) 設計製作回路①

大会当日に示す設計仕様に基づく電子回路を設計し、ユニバーサル基板を用いて電子回路基板を製作する。配線はスズメッキ線を使用し、設計製作回路は以下の部品を使用する。

① ユニバーサル基板 (サンハヤト ICB293相当品)

② フォトインタラプタ、スイッチ、コネクタ、0.5φスズメッキ線等

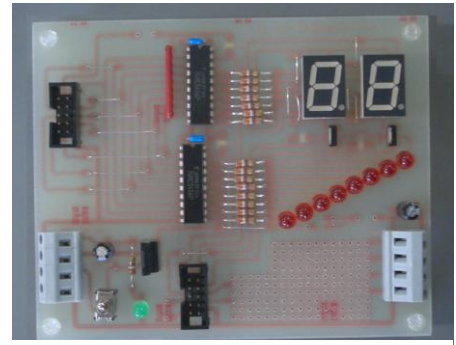
※変更等は、次のホームページを参照。

<http://www.mono2kuri.biz>

(2) 制御対象回路②

大会当日に競技委員から配布する。制御対象回路は、熊本県ものづくりコンテスト事務局が製作した『ものづくり kumamoto Ver01』を使用する。回路図及び部品については、別紙のとおりである。ユニバーサル部分に LED やモータドライバなどを取り付けるが、詳細については、HP で公表する。

なお、『ものづくり kumamoto Ver01』は、次のとおり購入できる。



ものづくり kumamoto Ver01

【取扱業者名】ミヤデンパーツ株式会社 <http://www.miyaden-p.jp/>

Tel 03-3254-5505 fax 03-3254-5504

【商 品 名】「熊本高校生ものづくりコンテスト用セット(基板及び部品一式)」

【金 額】1セット 2,480円(送料別)

(3) 制御コンピュータ③

開発環境及び電源を含めて持参する。コンピュータの性能・形状等に制限はない。

(4) 制御プログラム④

大会当日に提示する仕様に基づいたプログラムを作成する。使用する言語は、自由である。なお、プログラムの仕様例として、次のようなものがある。

- ① 時間計測や電圧測定プログラム
- ② 回転制御プログラム など

(5) 接続ケーブル

- ① 接続ケーブルA「設計製作回路①」～「制御用コンピュータ③」
ボックス型コネクタ(オムロン製 XG4C-1031、2列10P)が1系統
- ② 接続ケーブルB及びC「制御対象回路③」～「制御用コンピュータ③」
ボックス型コネクタ(オムロン製 XG4C-1031、2列10P)が2系統
- ③ 接続ケーブルD(電源用)
端子台(ML-950-4、4極 端子ピッチ5mm)
※「制御対象回路②」に必要な「電源a」の
接続ケーブルは接続済のものを配布する。



ML-950-4:写真は8極

4 作業条件

(1) 競技時間 2時間30分(150分)

(2) 競技実行委員から配布するもの

- ・『設計製作回路①』で使用する部品および材料等
- ・『制御対象回路②』(「電源a」及び制御素子等を含む)
- ・コンテストで使用する部品の規格表
- ・A4サイズ方眼紙
- ・ソースリスト提出用記録媒体(USBメモリ)
- ・AC100Vコンセント(2口)
- ・ソースリスト印刷用パソコン及びプリンタ
- ・接続ケーブルA、B、C、D

(3) 競技者が準備するもの

- ・「制御用コンピュータ③」及び開発環境、コンピュータ用電源
- ・+5Vの電源 (Max1000mA 程度)
- ・工具類及びテーブルタップ
- ・筆記用具及び定規、テンプレート類

工具類とは、各自の作業に必要なもので、はんだごて、こて台、はんだ吸い取り器、ニッパ、リードペンチ、ドライバ、テスタ、保護めがね、基板支持台 等

(4) 競技者の服装等

- ・競技中は、各学校で使用している作業服を着用する。
- ・はんだ付けの作業時には、保護メガネを着用する。ただし、メガネをかけている場合はこの限りではない。

(5) 注意事項

- ① 作業を行うにあたっては、安全に十分注意する。
- ② 配布された部品及び材料以外のものは、使用しない。
- ③ 規格表・命令表が必要な場合は各自で準備し、大会前日に承認を受ける。
- ④ 事前に製作したヘッダーファイルは、大会前日に申請し内容の承認を受ける。
- ⑤ ソースリストは、テキスト形式で記録媒体 (USB) に保存・提出する。

5 審査対象

- (1) 『設計製作回路①』の設計図 (A4 方眼紙)
- (2) 『設計製作回路①』の製作済基板
- (3) 仕様に対応する動作
- (4) プログラムのソースリスト (動作を優先・確認用として使用)
- (5) その他 (作業態度等)

6 採点基準

- (1) 採点項目と観点

項 目	配点	観 点
プログラミング技術	50	・ 動作
組み立て技術	20	・ 部品処理 ・ はんだの状態 ・ 配線 ・ 配置
設計力	20	・ 正確さ ・ 配置 ・ 記号 ・ 文字
その他	10	・ 作業態度 ・ 作業工程
合 計	100	

(2) 順位の決定方法

- ① 合計得点の高い順に、1 位、2 位、3 位・・・とする。
- ② 同点の場合は、「プログラミング技術」の得点の高い選手を高位とする。
- ③ 「プログラミング技術」の得点も同点の場合は、「組み立て技術」の得点の高い選手を高位とする。
- ④ さらに同点の場合は、「設計力」の得点の高い選手を高位とする。それでもなお同点の場合は、全体の完成度から順位を決定する。

7 その他

(1) 鉛フリーはんだについて

無鉛（鉛フリー）はんだ（Sn-3.0Ag-0.5Cu、0.8mm φ）を使用する。

(2) 動作確認について

プレ審査時に競技実行委員の指示に従い、競技者が操作して課題の動作確認を行う。

(3) 設計製作回路・当日の課題プログラム

『設計製作回路①』の回路図については、事前公開しない。

また、当日作成する制御プログラムに関しては、事前公開はしない。

(4) その他

大会の参考として、次のホームページを参照。

<http://www.mono2kuri.biz>